

安全データシート SAFETY DATA SHEET			
1	品名と会社情報	製品名 会社 住所 担当部門 電話／FAX 作成日 改定日	酸化セリウムスラリー OPSN-0425-2-15 株式会社 アウトラン 〒565-0824 大阪府吹田市山田西 3-52 C-511 製造部 06-6484-7799 / 06-6484-7790 2022 年 7 月 1 日 2025 年 2 月 2 日
2	危険有害性の要約	GHS 分類 物理化学的危険性 引火性液体 自然発火性液体 他の有害性分類 絵表示	区分外 区分外 対象外または分類不可 
3	組成及び成分	単一製品・混合物区別 成分 1 成分 2 成分 3 成分 4 成分 5 成分 6 成分 7 化審法番号	混合物 酸化セリウム CeO2 CAS No.1306-38-3 酸化ランタン La2O3 CAS No.1312-81-8 酸化プラセオジム Pr6O11 CAS No.12036-32-7 水分 H2O CAS No. 7732-18-5 分散剤その他 非公開 1%以下 ポリアマイド他アミン類 2%以下 プロピレングリコール 1%以下 酸化セリウム 1-627 酸化ランタン 1-757 酸化プラセオジム 1-800
4	応急措置	目に入った場合 皮膚に付着した場合 吸入した場合 飲み込んだ場合	直ちに清浄な水で数分間以上注意深く洗浄する。 衣服は脱衣後、多量の水及び石鹼で十分に洗い流す 新鮮な空気のある場所に移し安静、保温する。 直ちに新鮮な空気のある場所にて多量の水でうがいし、鼻をかませる。 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせる。患者の意識がない場合は飲ませても吐かせてもいいけない。医者診断を仰ぐ。 取扱い後は手を洗う。 蒸気を吸入すると咳、頭痛、めまい、息切れ、悪心などの症状が現れることがあるので、身体に異常をきたした際には医師の診断を仰

			ぐ
5	火災時の措置	消火剤 消火方法 (周辺火災の場合)	非危険物なので、一般的な消火剤を使用する。 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は容器及び周辺に散水して冷却し、容器の破壊を防ぐ。 乾燥した後の粉塵の吸入を防ぐために保護マスクを着用し消化する。
6	漏出時の措置	人体に対する注意事項 環境に対する注意事項	作業の際は適切な保護具を着用し飛沫などが皮膚に付着したり、蒸気、ガスを吸引しないよう注意する。 多量に漏洩した場合はよく換気し、出来るだけ容器に回収し、ウェス等でぬぐい取る 河川、下水道等に多量に流入しないよう注意する
7	取扱い及び保管上の注意	取扱い 保管	容器は密閉する。 保護マスクを着用し、粉塵、ミスト、蒸気などを吸入しない、決して飲用しない 湿疹、皮膚炎(かぶれ、ただれ)等の皮膚障害があるときは、悪化させることがあるので使用しない 皮膚に触れたり、目に入る可能性がある場合は保護具を着用する 容器を密閉し通気性の良い場所に保管し、子供の手の届く所に置かないこと 0℃以下 40℃以上、又は直射日光の当たる場所には長期間放置しない。使用時以外は密栓し、冷暗所に保管する
8	防爆防止措置	管理濃度 許容濃度 設備対策 保護具	規定なし 規定なし 屋内作業上での発散源を密閉し、局所排気装置を取り付ける。 作業する近くに手洗い、洗顔設備を設置する 呼吸用保護具 マスク 手の保護具 不浸透性ゴム手袋 目の保護具 保護眼鏡(普通眼鏡型・ゴーグル型)等 保護衣 長袖作業衣、保護長靴、保護服等
9	物理／化学的性質	外観等 沸点 密度 溶解度 pH	白色または淡褐色懸濁液体 約 100℃ 1.02～1.20g/cm ³ (20℃) 水に混和する 8.0～10.0

	危険性情報	粘度 臭い 引火点 発火点 爆発範囲の上限・下限	30～500mPa・s ほぼ無臭 なし 発火しない なし
10	安定性・反応性	化学的安定性 危険有害反応性	安定 通常の手扱いでは反応しない
11	有害性情報	健康に対する有害性 急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入:蒸気) 眼に対する重篤な損傷 /眼刺激性 皮膚感作性 生殖細胞変異原生 生殖毒性 特定標的臓器毒性 (単回暴露) (反復暴露) 他の有害性分類 吸引性呼吸器有害性 環境に対する有害性 水性環境有害性・急性 水性環境有害性・慢性	区分外 区分外 区分外 区分外 区分外 区分外 区分外 区分外 区分外 区分外または分類不可 分類不可 区分外 区分外
12	環境影響情報	生態毒性 残留性/分解性	アミン類 藻類 72 時間 EC50=35mg/L アミン類 分解度 60.5%
13	廃棄上の注意	残余廃棄物	廃棄の前にできる限り無害化、安定化し危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
14	輸送上の注意	国際規制 海上規制情報 UN NO.	IMO の規定に従う。 Not applicable

		Proper Shipping Name Class Sub Risk Packing Group Marine Pollutant 航空規制情報 UN No. Proper Shipping Name Class Sub Risk Packing Group 国内規則 陸上規制情報 海上規制情報 国連番号 品名 クラス 容器等級 海洋汚染物質 航空規制情報 国連番号 品名 クラス 等級 特別安全対策 輸送の安全対策及び条件	- - - - Not applicable ICAO・IATA の規定に従う Not applicable - - - - 消防法の規定に従う 船舶安全法の規定に従う 非該当 - - - 非該当 航空法の規定に従う - - - - 区分外 ・容器の破損、漏れがないことを確かめる。 ・荷崩れ防止を確実に行う。 ・該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。 ・直射日光を避ける。 ・水漏れ厳禁。 ・輸送容器は衝撃を与えない様に、ていねいに取扱う。転倒したり、 激突させたりしない。
15	適応法令	消防法 毒物および劇物取締法 労働安全衛生法 化学物質管理促進法 (PRTR 法) 船舶安全法、危険物船	非該当 非該当 非該当 第一種指定化学物質(管理番号 665)

		舶輸送及び貯蔵規則 廃棄物の処理及び清掃 に関する法律	非該当 規定に従う
16	その他の情報	原産国	日本

＊本安全データシートは通常の手扱いを想定して作成したものです。安全データシートは安全の保障を約束するものではありません。注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な手扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

本データシートの内容は新しい知見により予告無く変更する事があります。